

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	JDLA Deep Learning for GENERAL対策授業	必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	302教室
担 当 教 員	臼井 壮大	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

人工知能の技術の1つであるディープラーニングに関する試験JDLA Deep Learning for GENERALに合格し、人工知能に対する知識と技術を伸長を図る

《成績評価の方法と基準》

試験・課題 70%

出席 20%

平常 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

深層学習教科書 ディープラーニング G検定(ジェネラリスト検定)公式テキスト

《授業外における学習方法》

試験テキストをよく読み、何度も反復勉強すること

《履修に当たっての留意点》

IoT検定は試験時期が固定されていないため、自ら受験計画を立てて勉学に励むこと

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識①		
第2回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識②		
第3回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識③		
第4回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	ディープラーニング①		
第5回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	ディープラーニング②		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	ディープラーニング③		
第7回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	状況に応じた適切な人工知能の活用		
第8回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	ディープラーニング実装①		
第9回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	ディープラーニング実装②		
第10回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	ディープラーニング実装③		
第11回	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	ディープラーニング実装④		
第12回	授業を通じての到達目標	試験に向けて準備を行える 模擬テストで試験に備える	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	試験形式の説明 模擬テスト①		
第13回	授業を通じての到達目標	模擬テストで試験に備える	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	模擬テスト②		
第14回	授業を通じての到達目標	模擬テストで試験に備える	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	模擬テスト③		
第15回	授業を通じての到達目標	これまで学んだことを総ざらいし把握できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
	各コマにおける授業予定	総まとめ		